



校長室だより

黒部市立村椿小学校
令和8年6月5日
文責：校長 齊木 裕

備えあれば憂いなし

～第1回避難訓練（地震・津波）、黒部川総合水防演習より～

6月2日（火）に村椿保育所との合同の避難訓練を行いました。村椿小学校では、避難訓練を学期に1回行っています。1学期は、地震・津波を想定した訓練、2学期は、火災発生を想定した訓練、3学期は、校内へ不審者が侵入したことを想定した訓練を計画しています。昨年度までは、地震・津波を想定した訓練で、3階の教室や特別教室に避難をしていましたが、今回は5mの津波が押しよせる情報が1次避難後に入り、2次避難で屋上へ避難する計画にしました。子供たちは、屋上まで上がる訓練は、初めてでしたが「お・か・し・も」のきまりを守りながら、スムーズに避難することができました。



屋上に2次避難

5月30日（土）には、6年生が「黒部川総合水防演習」に参加しました。黒部市で行われるのは13年ぶりで、消防や警察等61団体で約1000人が集まり、黒部川の堤防決壊の恐れがあるとの想定で土のうを積み上げるなどの訓練を行いました。小学生は、村椿小学校、中央小学校、荻生小学校、若栗小学校、宇奈月小学校の黒部川沿いの5つの小学校の6年生が参加しました。村椿小学校の6年生は、「豪雨体験」「防災紙芝居」「土石流模型での説明」「土のうづくり体験」をしました。5つの体験を通して、学ぶべきものが多かったように思います。下記の内容は、6年生の感想です。



土のうづくり体験

豪雨体験をしたら、30mm～80mmの雨はよゆうだったけれど、180mmの雨は、ものすごく強い雨だったので、これくらいの強い雨で風が強かったら、家で安全に過ごそうと思いました。土砂災害の学習では、砂防ダムがないところとあるところでひ害が大きくなり分ることが分かりました。また、土砂災害には、前ぶれがあることが分かり、そのときは家族と避難しようと思いました。

上記の2つの経験から、自然災害が起こったときは、命を守る行動をしなければならぬと誰もが思ったように感じました。現在日本各地で、自然災害が多発しています。いつ何時地震が起こっても不思議ではありません。今回の避難訓練は、授業中であったため、先生の指示に従って避難することができました。もし登下校中、休み時間、家の人がない自宅にいるときなどに地震が起こったときは、自分で判断しなければならないときもあります。そのため訓練は大切であると思います。2学期の避難訓練は、休み時間中に行う予定です。

ご家庭でも、地震が起こったときは、どうすればよいか話し合い、どこへ避難するのかを子供たちに教えていただくと、ありがたいです。